

# 第7回自己炎症疾患研究会のお知らせ

平成26年2月1日 13時-16時30分

場所：フクラシア東京ステーション会議室K（5階）

東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル（東京駅近く）

（会場へのアクセスは裏面MAPを参照ください。）

## 入場無料

自己炎症疾患は、主に遺伝的な要因を背景として発症する炎症を基本病態とした疾患群です。概念の提唱から10年強と歴史が浅く、診断に苦慮する症例や有効な治療法のない疾患が存在するなど、患者さんのニーズに十分応えられていないのが現状ですが、昨年度には厚生労働省“自己炎症疾患およびその類縁疾患に対する診療基盤の確立”研究班が立ち上げられ、病態解明に向けた基礎的研究・各疾患の診療フローチャートや患者登録システムの整備・WEBサイトの作成等、診療基盤体制の整備が進められています。

第7回研究会では、前回に引き続いて代表的な疾患に関する最新の知見や治療等に関する講演を予定すると共に、“代謝性疾患と炎症”をトピックとして取り上げ、東京医科歯科大学の小川佳宏先生に“生活習慣病と慢性炎症”、オランダ・ユトレヒト大学 Joost Frenkel 先生に“メバロン酸キナーゼ欠損症”について特別講演を行って頂く事となりました。昨年と同様、診断・治療に苦慮している症例や教訓的な症例などを供覧する時間も予定しておりますので、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

症例提示をご希望の先生は、平成26年1月17日までにE-mailにて西小森までご連絡ください。

アドレス: [rnishiko@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:rnishiko@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

発起人 井田弘明（久留米大学 第一内科）、西小森隆太（京都大学 小児科）

## 研究会プログラム

13:00 開会の挨拶 井田・西小森

13:05-13:20 千葉大学アレルギー膠原病内科 池田啓先生  
“関節エコーによる Blau 症候群の関節病変の解析”

13:20-13:35 神奈川こども病院 感染免疫科 今川智之先生  
“CRMO について”

13:35-13:50 横浜市立大学病態免疫制御内科学 桐野洋平先生  
“ベーチェット病の遺伝学的解析による自己炎症症候群との関連性の解明”

13:50-14:05 名古屋大学医学部附属病院総合診療科 鈴木富雄先生  
“成人領域の不明熱と自己炎症疾患について”

14:05-14:45 特別講演1 ユトレヒト大学 Joost Frenkel 先生  
“Mevalonate kinase deficiency”（仮）

14:45-14:55 休憩

14:55-15:45 症例検討会

15:45-16:25 特別講演2 東京医科歯科大学糖尿病・内分泌・代謝内科 小川佳宏先生  
“生活習慣病と慢性炎症”

16:25-16:30 閉会の挨拶 井田・西小森

